

不等式で挟んだ積分形のホテリングの補題

小川健(専修大学・経済学部・専任教員)

概要

微分形のホテリングの補題は包絡線定理を利用した利潤最大化における有名な結果であって、ミクロ経済学上の代表的な項目の1つとして扱われている。一方で、包絡線定理には積分形のものもあり、オークションの理論など一部で経済学への応用に使われている部分があるが、ホテリングの補題の積分形は一般的ではない。

本稿では積分形のホテリングの補題を経済数学の教材として活用する事例を取り上げる。価格変動に伴う利潤の平均変化率と生産量の関係など、理論面での微分積分学の基本定理の活用事例として使える。

キーワード:ホテリングの補題, 定積分, 平均変化率

JEL 区分: A22, C02, D21